

科目名	担当教員	学期	単位
方法論セミナー（数理分析）	須賀 晃一	夏季集中	2

講義概要

政治学研究方法（数理分析）の上級コースとして、実際にゲーム理論的分析手法によって政治学研究を進めるための技術の習得を目的とした夏季集中講義を行う。各参加者の研究テーマに関連する領域でゲーム理論が使われている論文を探し、他の参加者と一緒に輪読する。さらに、その論文を発展させたモデルを作成し、モデルの均衡を求め、モデルから得られる含意をまとめる。最後に、それに基づいてレポートを作成し、報告する。

シラバス

- [第1回] はじめに
- [第2回] 数理分析の方法
- [第3回] 選択理論
- [第4回] 不確実性と期待効用仮説
- [第5回] 標準型ゲーム
- [第6回] ベイジアン・ゲーム
- [第7回] 展開型ゲーム
- [第8回] 完全ベイズ均衡
- [第9回] メカニズム・デザイン
- [第10回] 論文の輪読
- [第11回] 論文の輪読
- [第12回] 論文の輪読
- [第13回] 研究報告
- [第14回] 研究報告
- [第15回] 研究報告

教科書

適宜指示・配布する

参考文献

適宜指示・配布する

評価方法

独自のモデルを解説したレポートの提出（70%）、授業への参加・貢献度（30%）

関連URL

<http://www.f.waseda.jp/ksuga/>

備考